Library News
京教図書館 ニュース
2011年8月号 No.131

私のすすめるこの1冊

安江 勉（美術科 准教授）

『ロバート・メイプルソープ写真集 MAPPLETHORPE』

生きることへの真摯な姿勢。凝縮と緊張、明晰で静謐な美しさ。尖鋭で背徳的な雰囲気、時代を挑発する冷徹な熱い視線。そして、死の影。それは、私の深いところを震わせた。

大学図書館の閲覧コーナーにあった美術雑誌の小さな写真。ロバート・メイプルソープの作品に出会ったのは、1982 年、20 歳を少し過ぎた頃だった。その写真は、作者自身の意識を露出したものでもなく、被写体の内面に下降していくものでもない。また、決定的な瞬間、持続する時間を捉えたものでもない。いままでの写真とは違う新しい美意識と圧倒的な造形美の世界だった。

社会の問題と写真の特質について考え抜く。切実な精神で被写体に自己投影する。あるいは自己投影できる被写体を厳密に選択する。そして、色彩と形態、質感、光と陰、空間に執拗にこだわり一分の隙もなく構成する手法。サイズ、フォーマット、フレームの徹底した試行錯誤。そこに極限の美しい世界が現われる。魔法のように。

1987 年、メイプルソープの自宅で行われたインタビューから抜粋する。

「美術学校に通っていたころには、写真家になりたいとは思わなかった。美術の分野としては低く見られていたしね。でも、写真という領域の中でできることがおそろしくたくさんあることに気づく時がきた。それになにもかもが目まぐるしく展開する 70 年代、80 年代にはぴったりのメディアだ。少なくともぼくにはそんな気がした。」1)

彼はよく完璧と言う。

「完璧というのは、写真についてまったくなんの疑問も感じさせないということだ。これまで撮った写真の中にも、一枚の葉、あるいは手ひとつも動かせないというたぐいのがある。すべてあるべきところに収まっていて、別のところに動かすというような可能性がまるでない。疑問の余地がまったくない。ただそこにある。ぼくが目指しているのはそうしたものなんだ。」2)

80 年代にアートに携わったものにメイプルソープの影響を受けた者は多い。それほど彼の仕事は特別なものだった。

1989 年、メイプルソープはエイズにより亡くなる。42 歳だった。彼の死後、写真を含めた映像メディアは情報の中心となり、アートの主役となった。今、メイプルソープの作品から文脈を読みとき、彼のまなざしを追体験することは大切なことだと思う。私たちはメイプルソープの後の時代を生きているのだから。

忘れられない出来事がある。1992 年、水戸芸術館で巡回開催された回顧展。私は大きな展示室でひとりきりになった。そのとき、誰かから話しかけられたような気がした。それは、優しい穏やかな声だった。

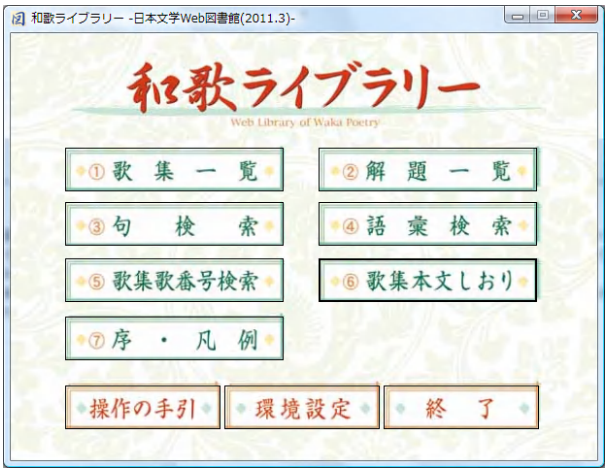
1) 2)「ロバート・メイプルソープ インタビュー」
ジャネット・カードン（訳＝木下哲夫）
『美術手帖』美術出版社、1989 年 6 月号、pp.42-47

『ロバート・メイプルソープ写真集 MAPPLETHORPE』
発行者：UPLINK 発行年：1994 年 ISBN：9784900728042 入手手続き中
※メイプルソープの写真集は本学未所蔵ですが、以下の雑誌記事に写真が掲載されています。
「ロバート・メイプルソープ ― アメリカン・アイコノグラファー、再び」 谷川渥
『美術手帖』美術出版社、2002 年 11 月号、pp.141-148 （書庫 1 階にあります）

図書館からのお知らせ

日本文学 Web 図書館トライアル　８月末まで実施中です

　図書館ニュースにてご紹介してきましたが、日本文学 Web 図書館「和歌ライブラリー」のトライアルは 2011 年８月末で終了となります。ぜひこの機会にご利用いただき、学習・研究へとお役立て下さい。
※学内 LAN からのみ利用可能です。
　附属図書館トップページ右側、「日本文学 Web 図書館」をクリックしてください。本学作成の詳細説明が表示されます。利用開始時にダウンロードが必要となりますので、注意事項をよく読んでからご利用ください。



夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対　　象	院生・教職員	学部生
貸出期間	７月９日（土）～９月５日（月）	７月２３日（土）～９月１７日（土）
貸出冊数	１２冊	７冊
返却期限日	２０１１年１０月４日（火）	

＊前期卒業予定者の返却期限は９月１０日（土）です。
＊視聴覚資料は除きます。
＊長期貸出図書については、貸出の延長はできません。
　一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。
＊一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません。

図書館職員
からひとこと

マナーを守って図書館を利用しましょう

最近、図書館内でのマナーの悪さが目立ちます。例えば、

・机にガムを貼り付ける
・目立たないところにペットボトルを置いて帰る

図書館では飲食禁止ですが、それだけではなく世間一般の常識から見てもマナーに反する行為です。お互いが気持ちよく利用できるよう、マナー・ルールを守った利用を心がけて下さい。

図書館内でも無線 LAN が使用可能になりました！（学内者限定）

図書館南館 1 階と 2 階に無線 LAN のアクセスポイントが設置されました。自分のノート PC を持ち込んで利用することができます。学内の他の無線 LAN と同様に “kyokyo” に接続して、情報処理センター（I PC）のログイン I D・パスワードを入力してご利用下さい。

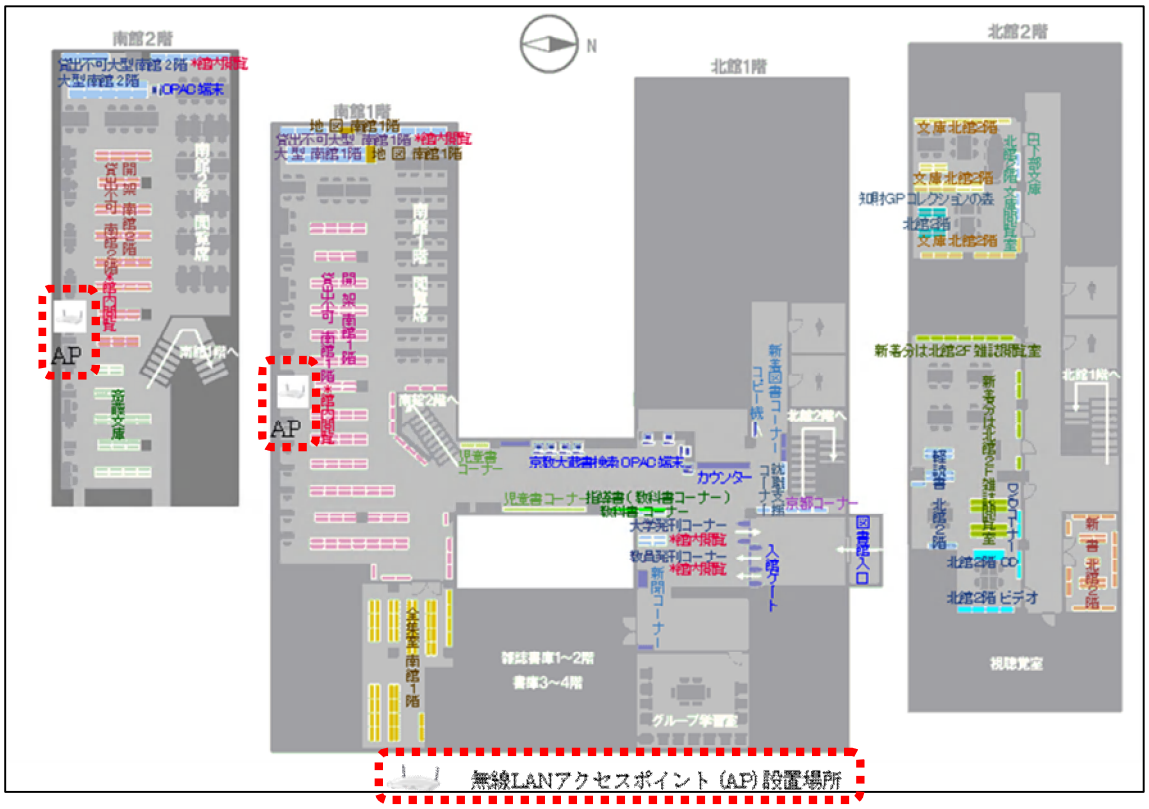
各 OS 毎の具体的な設定・接続方法は I PC の HP（下記）をご確認下さい。

接続手順書のダウンロードページ

URL：http://www.kyokyo-u.ac.jp/IPC/musen/WEP/download.html

無線 LAN アクセスポイントの設置場所は南館 1,2 階南側中央付近です。(下図参照)
設置場所に近いほど強度は高いですが、南館であればどこでも接続できます。

グループ学習室・視聴覚室など北館の部屋には電波が届きません。



～　図書館開館スケジュール　～

2011年　8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	●	●	●	●	●	休
7	8	9	10	11	12	13
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
14	15	16	17	18	19	20
休	休	休	休	▲	▲	休
21	22	23	24	25	26	27
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
28	29	30	31			
休	▲	▲	▲			

2011年　9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				●	●	▲
4	5	6	7	8	9	10
休	●	●	休	●	●	▲
11	12	13	14	15	16	17
休	●	●	●	●	●	▲
18	19	20	21	22	23	24
休	休	●	●	●	休	▲
25	26	27	28	29	30	
休	●	●	●	●	●	

＜カレンダーの見方＞

日付 ●	9:00～21:00
日付 ▲	9:00～17:00
日付 休	休館日

8 月 6 日(土)～8 月 31 日(水)は、休業期間のため、月～金曜は 17 時閉館、土曜は休館となる
8 月 15 日(月)～8 月 17 日(水)は夏季一斉休業のため休館
9 月 7 日(水)は館内整理日のため休館

論のくちび　理のむすび

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです

国語科の学校文法における「品詞」について

森山卓郎　・　矢澤真人　・　安部朋世

森山卓郎（国文学科　教授）

京都教育大学紀要　No. 118　pp. 91-106　平成 23 年 3 月

「速く歩く」の「速く」の品詞は何でしょう。「副詞」と答える学生が少なからずありますが、間違い。確かに「速く」は「歩く」の様態を修飾するので副詞的な修飾と言えます（西洋文法の模倣をする文法では副詞という扱いもありました）。しかし、品詞としては形容詞「速い」の連用形です。「速い」という一つの語がいろいろと形を変えると見るわけです。こう考えることで、「ゴキブリは速く、カタツムリは遅い」のように述語になる「速く」も、言い切りの「速い」も「速けれ（ば）」もいちいち別の語と考えなくてもよくなります。別の環境で形を変えて出てきているわけです、一方、例えば「大きな～」と「大きい～」はどうでしょう。よく似ていますが、同じ環境（名詞の前）にどちらもが使えます。これは別の語です。怪人二十面相のお話などと同様で、同じところに二人いれば別人だし、形は違ってもいるところが違えば同一人物の変装です。このように、品詞一つの語の形が変わるのか、別の語とみるのかを意味や形によって整理するわけです。

こうした品詞論の成立の背景を整理し、文法教育としての現在での課題を整理したのがこの論文です。現在、学校で教えられている学校文法に対する批判を目にすることがよくあります。一部にはその通りと思うことがありますが、古典語の学習との連続性、学習者の特性（日本語が母語）などを見落としてはいけません。現行の学校文法の底流は国学からの流れと洋式文典の流れとの折衷ですが、用言や体言というとらえ方など、それなりになかなかよく考えられているところもあります。

「代名詞」のように最近教科書から姿を消した品詞もあります。「同じだ」「深紅」、数詞や動名詞などの下位類のように、例外になるような部分もあります。様々な日常の言葉をちょっと見直してみることも楽しいことです。考え方のトレーニングにもなります。国語の文法教育も大切にしていきたいと思います。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 118 号に掲載されています。
後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/ にも公開予定です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから　http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/
●携帯版図書館ホームページはこちらから
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm
右記の QR コードからも
アクセスできます

京教図書館 News　No. 131（2011 年 8 月号）
発行日：平成 23 年 8 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学